

Dell EMC PowerEdge システム用 Microsoft Windows Server 2016

重要情報ガイド

メモ、注意、警告

① | **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ | **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

△ | **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2016 – 2019 Dell Inc. その関連会社。不許複製・禁無断転載。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

目次

1 Microsoft Windows Server 2016 についての重要な情報.....	4
iDRAC、BIOS、システムファームウェア、RAID コントローラドライバのバージョン.....	4
Microsoft Windows Server 2016 に対するシステム管理サポート.....	6
Windows Server、2016 のための多言語オペレーティングシステムメディア.....	6
多言語 DVD メディアを使用してオペレーティングシステムを導入.....	6
事前インストールされた仮想マシン.....	6
仮想マシンのインポート.....	7
Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) IP アドレスの取得.....	7
Dell EMC PowerEdge サーバ用オペレーティング システム サポート マトリックス.....	7
Dell EMC PowerEdge システムでサポートされている Microsoft Windows ビデオ.....	8
2 既知の問題.....	9
I/O 動作中に記録されるクラスタ VD エラー.....	9
NVDIMM のバスタイプが不明と表示される.....	9
iSCSI ターゲットおよび Intel i350 イニシエーターからの起動中に発生する Windows のブルー スクリーン エラー.....	9
Inbox サポートのないドライバ.....	9
オペレーティングシステムの名前が正しく表示されない.....	10
Windows Server Core をデスクトップエクスペリエンス搭載 OS に変換できない.....	10
Host Guardian Hyper-V Support または Device Guard が PERC H330 で有効になっている場合、Windows Server 2016 で起動できない.....	10
NVMe デバイスを実行している VM に取り付けるとデバイスが列挙されない.....	11
システムが「Unable to modify or create TPM password(TPM パスワードを変更または作成できません)」というエラーメッセージを表示する.....	11
3 困ったときは.....	12
Dell EMC へのお問い合わせ.....	12
マニュアルリソース.....	12
ドライバとファームウェアのダウンロード.....	14
マニュアルのフィードバック.....	14

Microsoft Windows Server 2016 についての重要な情報

本書には、Dell EMC PowerEdge システム用 Microsoft Windows Server 2016 についての重要な情報が記載されています。

iDRAC、BIOS、システムファームウェア、RAID コントローラドライバのバージョン

表 1. 第 14 世代 PowerEdge システムでサポートされている BIOS および iDRAC の最小バージョン

プラットフォーム	Essentials	Standard (標準)	データセンター	サポートされている iDRAC バージョン	サポートされている BIOS バージョン
PowerEdge C4140		あり	あり	3.21.21.21	1.2.6
PowerEdge C6420		あり	あり	3.00.00.00	1.0.8
PowerEdge FC640		あり	あり	3.15.15.15	1.0.1
PowerEdge M640		あり	あり	3.15.15.15	1.0.1
PowerEdge MX740c		あり	あり	3.20.20.20	1.0.1
PowerEdge MX840c		あり	あり	3.20.20.20	1.0.1
PowerEdge R240	あり	あり		3.23.23.23	1.0.1
PowerEdge R340	あり	あり		3.23.23.23	1.0.1
PowerEdge R440		あり	あり	3.11.11.11	1.0.1
PowerEdge R540		あり	あり	3.11.11.11	1.0.1
PowerEdge R640		あり	あり	3.00.00.00	1.0.7
PowerEdge R6415		あり	あり	3.17.17.17	1.0.7
PowerEdge R740 XD2		あり	あり	3.23.23.23	1.0.4
PowerEdge R740/XD		あり	あり	3.00.00.00	1.0.7
PowerEdge R7415		あり	あり	3.17.17.17	1.0.7
PowerEdge R7425		あり	あり	3.17.17.17	1.0.7
PowerEdge R840		あり	あり	3.19.19.19	1.0.0
PowerEdge R940		あり	あり	3.00.00.00	1.0.7
PowerEdge R940xa		あり	あり	3.19.19.19	1.0.0

プラットフォーム	Essentials	Standard (標準)	データセンター	サポートされている iDRAC バージョン	サポートされている BIOS バージョン
PowerEdge T140	あり	あり		3.23.23.23	1.0.1
PowerEdge T340	あり	あり		3.23.23.23	1.0.1
PowerEdge T440		あり	あり	3.11.11.11	1.0.1
PowerEdge T640		あり	あり	3.11.11.11	1.0.1

表 2. 第 13 世代 PowerEdge システムでの iDRAC バージョン (2.40.40.40) 以降のサポート

プラットフォーム	Essentials	Standard (標準)	データセンター	対応 BIOS バージョン
PowerEdge C4130		あり	あり	2.2.5
PowerEdge C6320		あり	あり	2.2.5
PowerEdge FC430		あり	あり	2.2.5
PowerEdge FC630		あり	あり	2.2.5
PowerEdge FC830		あり	あり	2.2.5
PowerEdge M630		あり	あり	2.2.5
PowerEdge M830		あり	あり	2.2.5
PowerEdge R230	あり	あり		1.4.5
PowerEdge R330	あり	あり		1.4.5
PowerEdge R430		あり	あり	2.2.5
PowerEdge R530		あり	あり	2.2.5
PowerEdge R630		あり	あり	2.2.5
PowerEdge R730		あり	あり	2.2.5
PowerEdge R730xd		あり	あり	2.2.5
PowerEdge R830		あり	あり	11.3
PowerEdge R930		あり	あり	21.3
PowerEdge T130	あり	あり		1.4.5
PowerEdge T330	あり	あり		1.4.5
PowerEdge T430		あり	あり	2.2.5
PowerEdge T630		あり	あり	2.2.5

表 3. 第 12 世代 PowerEdge システムでの iDRAC バージョン (2.40.40.40) 以降のサポート

プラットフォーム	Essentials	Standard (標準)	データセンター	対応 BIOS バージョン
PowerEdge M420		あり	あり	2.4.2
PowerEdge M520		あり	あり	2.4.2
PowerEdge M620		あり	あり	2.5.4
PowerEdge M820		あり	あり	2.3.3
PowerEdge R220	あり	あり		1.9.0

プラットフォーム	Essentials	Standard (標準)	データセンター	対応 BIOS バージョン
PowerEdge R320	あり	あり		2.4.2
PowerEdge R420		あり	あり	2.4.2
PowerEdge R520		あり	あり	2.4.2
PowerEdge R620		あり	あり	2.5.4
PowerEdge R720		あり	あり	2.5.4
PowerEdge R820		あり	あり	2.3.4
PowerEdge R920		あり	あり	1.6.2
PowerEdge T20	あり	あり		A09
PowerEdge T320	あり	あり		2.4.2
PowerEdge T420		あり	あり	2.4.2
PowerEdge T620		あり	あり	2.5.4

Microsoft Windows Server 2016 に対するシステム管理サポート

Dell OpenManage 8.4 以降は、Microsoft Windows Server 2016 をサポートしています。OpenManage のインストールの詳細については、Dell.com/openmanagemanuals の『OpenManage System Management Installation Guide』(OpenManage System Management インストールガイド) を参照してください。

Windows Server、2016 のための多言語オペレーティングシステムメディア

Windows Server 2016 のリリースにおいて、Dell EMC システムにはサポート言語のリストを提供する多言語オペレーティングシステム インターフェイスが搭載されています。初めてシステムに電源を入れるとき、または Dell EMC 提供のメディアを使用してオペレーティングシステムを再インストールするときに、好きな言語を選択することができます。

この新しい多言語オペレーティングシステムメディアにより、オペレーティングシステムを好きな言語で再インストールする柔軟性が得られます。

多言語 DVD メディアを使用してオペレーティングシステムを導入

多言語 DVD メディアを使用して OS を導入するには、次の手順を実行します。

- 1 OS メディアから起動します。
- 2 **Language Selection** (言語の選択) 画面から希望の言語を選択し、画面の指示に従います。

① **メモ:** 簡体字中国語および繁体字中国語のイメージは個別の DVD で提供されています。

事前インストールされた仮想マシン

Dell.com で **hyper-v 役割の有効化** を選択した場合、事前インストールされた仮想マシンが提供されます。Microsoft の通常のライセンス制限に従い、Hyper-V マネージャと共にお使いのサーバの **C:\Dell_OEM\VM** で仮想マシンファイルを使用して、仮想マシンをこのシステムにインポートすることができます。ライセンス諸条件についての詳細は、お使いの製品に同梱の『End User License Agreement』(エンドユーザーライセンス契約) を参照してください。

C:\Dell_OEM\VM にある VM で、セットアッププロセス中に適切な言語を選択することができます。この VM に取り付けられている仮想ハードディスクは動的な容量可変の拡張タイプで、固定タイプに変換することも可能です。

① **メモ:** VM に取り付けられている仮想ハードディスク (VHD) は動的な容量可変の拡張タイプで、最大 127 GB に増やすことが可能です。仮想ディスク容量を増やすには、新しい仮想ハードディスクを作成し、それを同じ VM に取り付けます。Dell EMC 提供の仮想ハードディスクを動的な拡張ディスクから固定ディスクに変換するには、変換前にお使いのサーバに 127 GB 以上の容量があることを確認してください。

仮想マシンのインポート

- 1 オペレーティングシステムで **Hyper-V Manager (Hyper-V マネージャ)** に移動します。
- 2 **Hyper-V Manager (Hyper-V マネージャ)** でサーバを選択し、右クリックします。
- 3 **Import Virtual Machine (仮想マシンのインポート)** を選択します。
- 4 **Import Virtual Machine Wizard (仮想マシンのインポートウィザード)** で VM のパスを入力し、インポートします。

sysprepped VHDx ファイルを使用して作成された VM をアクティブ化するには、システムに貼られている COA (Certificate of Authenticity) ステッカー上の仮想プロダクト キーを使用します。お使いのサーバにオペレーティングシステムのデータセンター エディションが同梱されている場合は、Microsoft の AVMA (仮想マシンの自動ライセンス認証) キーを使用して VM を自動でアクティブ化することもできます。AVMA キーのアクティブ化方法の詳細については、[Technet.microsoft.com](https://technet.microsoft.com) で「仮想マシンの自動ライセンス認証」を参照してください。

システムを実稼働環境に設置する前に、標準的な方法を用いてセキュリティアップデートを実行することができます。

① **メモ:** VM のバックアップの作成をお勧めします。消失または損傷がある場合、Dell EMC から代替りのファイルは提供されません。

Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) IP アドレスの取得

PowerShell モジュール `DellTools.psm1` は C:\Dell_OEM\PSModule にあります。このフォルダは、一般的なタスクを支援するために工場出荷時にインストールされています。

このモジュールには、オペレーティングシステムから iDRAC IP アドレスにアクセスすることを可能にするコマンドが含まれています。

iDRAC IP アドレスを取得するには、次のコマンドを入力して ENTER を押します。

```
Get-iDRACIPAddress
```

この機能は IPv4 値のみを取得します。

① **メモ:** このスクリプトは、実働環境で使用する前にお使いのすべてのアプリケーションとサポートされている Server Core の役割でテストしておく必要があります。

Dell EMC PowerEdge サーバ用オペレーティング システム サポート マトリックス

Windows Server OS は、特定の Dell EMC PowerEdge サーバにのみインストールすることができます。Dell EMC がサポートする PowerEdge サーバと OS の組み合わせのリストについては、[Dell.com/ossupport](https://dell.com/ossupport) で『Operating System Support Matrix for Dell EMC PowerEdge Systems』を参照してください。

Dell EMC PowerEdge システムでサポートされている Microsoft Windows ビデオ

表 4. Dell EMC PowerEdge システムでサポートされている Microsoft Windows ビデオ

ビデオのタイトル	リンク
Dell Lifecycle Controller を使用した UEFI モードの Microsoft Windows 2016 オペレーティングシステムのインストール	www.youtube.com/watch?v=JDW_kZdtv9g
手動での UEFI モードの Microsoft Windows 2016 オペレーティングシステムのインストール	www.youtube.com/watch?v=dtisbtatoVY
手動での UEFI モードの Microsoft Windows 2016 オペレーティングシステムのインストール	https://www.youtube.com/playlist?list=PLe5xhhyFjDPfTCaDRFfIB_VsoLpL8x84G
Lifecycle Controller を使用した UEFI モードの Windows 2016 オペレーティング システムのインストール	https://www.youtube.com/playlist?list=PLe5xhhyFjDPfTCaDRFfIB_VsoLpL8x84G
OS の導入 - USB ドライブを使用した無人インストール	https://www.youtube.com/playlist?list=PLe5xhhyFjDPfTCaDRFfIB_VsoLpL8x84G

既知の問題

I/O 動作中に記録されるクラスタ VD エラー

- 説明：** MX740c/MX840c および MX5016s サーバに Storage Spaces クラスタリング、および Multi-Path I/O を使用した共有ストレージが設定されている場合、I/O 動作中にクラスタ VD エラーが記録されます。
- 解像度：** これは Windows Server 2016 で発生する既知の問題であり、Microsoft はこの問題を認識しています。この問題は、2018 年 9 月にリリースされた Windows Server 2016 の月次アップデートで修正されました。共有ストレージ モード（エンクロージャモード）で MX5016s サーバを設定する前に、このパッチをインストールする必要があります。

NVDIMM のバスタイプが不明と表示される

- 説明：** Windows Server 2016 ストレージスペースのグラフィカルインタフェースに NVDIMM が不明と表示されます。
- 解決策：** これは、Windows Server 2016 の既知の問題で、Microsoft はこの問題を認識しています。この問題は今後の Windows アップデートで解決されます。回避策として、NVDIMM のバスタイプを表示するために、Shell コマンド `Get-PhysicalDisk | fl` を実行します。
- 上記のコマンドを実行すると、NVDIMM の正しいバスタイプ `SCM` が表示されます。

iSCSI ターゲットおよび Intel i350 イニシエーターからの起動中に発生する Windows のブルー スクリーン エラー

- 説明：** iSCSI ターゲットからの起動に Windows 2016 Inbox Intel iSCSI ドライバを使用すると、**STOP 0x7B Inaccessible Boot Device Blue Screen while booting from Intel i350-t Adapter initiator** というエラーが発生します。この問題は、Windows 2016 オペレーティング システムのインストール メディア イメージ内の Inbox Intel i350 ドライバに限定されます。
- 解像度：** Dell EMC は、この問題を修正する新しい Intel i350 ドライバ パッケージをリリースしました。Dell サポート サイトからお使いの各サーバ用のドライバをダウンロードしてください。次の手順を実行することにより、Windows のインストール中に Intel iSCSI ドライバを手動で選択できます。
- 1 管理者権限のコマンド プロンプトから次のコマンドを実行して、`Network_Driver_3PT51_WN64_18.0.0_A00.exe` DUP（Dell Update パッケージ）から USB メモリー ドライブヘッファイルを解凍します。
`Network_Driver_XXXXX_WN64_XX.X.X_A00.exe /s /drivers=C:\mydir`
 - 2 **ドライバのロード**をクリックして、解凍した USB ドライブから新しいドライバを選択します。
 - 3 この新しいドライバを使用して、インストールを完了します。

詳細については、「[Windows Blue Screen booting from iSCSI Target and Intel i350 Initiator](#)」を参照してください。

Inbox サポートのないドライバ

以下の表は、Windows Server 2016 の Inbox サポートのないドライバのリストです。

表 5. Inbox サポートのないドライバ

Windows 2016
デルの第 12 世代、第 13 世代、第 14 世代の PowerEdge システム用 AMD および NVIDIA アドオン ディスプレイドライバ
ソフトウェア RAID PERC S110、S130、および S140
Matrox G200W および G200eR 内蔵ビデオコントローラ
BCM57402 NetXtreme-E デュアルポート 10 Gb イーサネット (Broadcom)
BCM57404 NetXtreme-E デュアルポート 10 Gb/25 Gb イーサネット (Broadcom)
BCM57406 NetXtreme-E デュアルポート 10 GBase-T イーサネット (Broadcom)
Emulex エンジン (XE) 100 シリーズ (Skyhawk) — NIC および FCoE ドライバは Inbox であり、iSCSI ハードウェアの場合のみボックスドライバからインストールする必要があります。

① | **メモ:** Inbox サポートのないドライバの詳細については、[Dell テックセンター](#)にアクセスしてください。

① | **メモ:** 最新のドライバアップデートについては、Dell.com/support/drivers にアクセスしてください。

オペレーティングシステムの名前が正しく表示されない

説明 : SAC (Special Administration Console) インターフェイスは、帯域外ポートで Recovery Console などの機能からテキスト出力をリダイレクトします。iDRAC は、ターミナル エミュレーション ソフトウェア (このシナリオではコマンド プロンプト) を実行するリモートコンピューターに接続する帯域外ポートです。Windows Server 2016 オペレーティング システム搭載システムは、id コマンドを発行することで SAC インターフェイスに Windows Server 2012 R2 のような製品名を表示します。

解像度 : 修正は、Microsoft Windows Server 2016 用の 9D 累積アップデートで入手できます。このアップデートに関する詳細については、「[Microsoft Knowledge Base Article 3192366](#)」(Microsoft サポート技術情報記事 3192366) に記載されている Windows アップデートカタログサーバーの詳細をダウンロードしてください。

Windows Server Core をデスクトップエクスペリエンス搭載 OS に変換できない

説明 : Windows Server の前のバージョンと異なり、Microsoft Windows Server 2016 は Windows Server とデスクトップ エクスペリエンス搭載サーバ間の変換をサポートしていません。

解像度 : オペレーティング システムの種類を変更するには、Windows Server 2016 オペレーティング システムを再インストールします。Windows Server 2016 のインストール オプションの詳細については、[Windows Server 2016](#) のマニュアルを参照してください。

Host Guardian Hyper-V Support または Device Guard が PERC H330 で有効になっている場合、Windows Server 2016 で起動できない

説明 : **Host Guardian Hyper-V Support** または **Device Guard** が PERC H330 で有効になっている場合、システムは Windows 2016 オペレーティングシステムで起動できません。オペレーティングシステムの再イメージ化、またはバックアップからの復元が必要です。障害は RAID 5 の仮想ディスクで定期的に発生しますが、劣化状態の RAID 1 VD のようなさまざまな状況の他の RAID レベルでも発生する可能性があります。H330 コントローラ上に作成されたすべてのパーティションが影響を受ける場合があります。

解像度 : Host Guardian Hyper-V Support または Device Guard 機能を有効にしないでください (グループ ポリシー経由)。詳細については、『[Dell ナレッジベース ページ QNA44045](#)』を参照してください。

NVMe デバイスを実行している VM に取り付けるとデバイスが列挙されない

説明 : NVMe デバイスがディスクリットデバイス割り当て (DDA) 機能で仮想マシンに取り付けられているときに、NVMe デバイスをホットリムーブしてホットプラグすると正常に列挙されません。

解像度 : NVMe デバイスを仮想マシンに取り付け直します。
次の手順を実行して、NVMe デバイスを仮想マシンに取り付け直します。

- 1 管理者権限で Power Shell を開きます。
- 2 デバイスをホット プラグした後に、Get-PnpDevice を実行してデバイスを識別し、ロケーション パスを取得します。
- 3 次のコマンドを実行して、VMHost 割り当て可能デバイスを取り外します。

```
Remove-VMAssignableDevice -locationpath $locationpath -VMName "VM-Name"
```

\$locationpath は、手順 2 のロケーション パスで、VM-Name はデバイスが取り付けられた VM の名前です。

- 4 次のコマンドを実行して、VM を取り付け直します。

```
Add-VMHostAssignableDevice -locationpath $locationpath -VMName "VM-Name"
```

システムが「Unable to modify or create TPM password (TPM パスワードを変更または作成できません)」というエラーメッセージを表示する

説明 : TPM パスワードを作成または変更する場合は、TPM 所有者パスワードが必要です。

解像度 : これを行うには、まず [BIOS セットアップ] の下の [TPM] オプションを有効にして、Windows Server 2016 を再起動します。次に **Windows TPM ソフトウェア** (tpm.msc) を起動して、[**所有者パスワードの変更**] をクリックすると、Supply your current TPM owner password to change to a new TPM owner password というメッセージが表示されます。Microsoft は Windows Server 2016 の TPM 所有者パスワード機能を変更しましたが、それは Windows 10 クライアント OS TPM 機能の範囲内です。詳細については、「[Change the TPM owner password](#)」にアクセスしてください。

困ったときは

トピック：

- Dell EMC へのお問い合わせ
- マニュアルリソース
- ドライバとファームウェアのダウンロード
- マニュアルのフィードバック

Dell EMC へのお問い合わせ

Dell EMC では、オンラインおよび電話ベースのサポートとサービス オプションをいくつかご用意しています。サポートとサービスは国、地域、および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。

セールス、テクニカル サポート、またはカスタマーサービスに関する Dell EMC へのお問い合わせについては、<https://www.dell.com/contactdell> を参照してください。

お使いのコンピューターがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、または製品カタログで連絡先をご確認ください。

マニュアルリソース

表 6. お使いのシステムのその他の文書リソース

タスク	文書	場所
サーバーのセットアップ	ラックへのサーバの取り付けの情報については、お使いのラック ソリューションに同梱のラック マニュアルまたはお使いのサーバに同梱の『はじめに』マニュアルを参照してください。	Dell.com/poweredgemanuals
	サーバの起動と技術的仕様については、お使いのサーバに同梱の『はじめに』マニュアルを参照してください。	Dell.com/poweredgemanuals
サーバーの設定	iDRAC 機能、iDRAC の設定と iDRAC へのログイン、およびサーバのリモート管理の情報については、『Integrated Dell Remote Access Controller ユーザーズガイド』を参照してください。	Dell.com/idracmanuals
	オペレーティングシステムのインストールについての情報は、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。	Dell.com/operatingsystemmanuals
	RACADM (Remote Access Controller Admin) サブコマンド、およびサポートされている RACADM インターフェイスを理解するための情報について	Dell.com/idracmanuals

タスク	文書	場所
サーバーの管理	は、『RACADM Command Line Reference Guide for iDRAC』を参照してください。	
	ドライバおよびファームウェアのアップデートの情報については、本書の「ドライバとファームウェアのダウンロード」の項を参照してください。	Dell.com/support/drivers
	デルが提供するサーバ管理ソフトウェアの情報については、『Dell OpenManage システム管理概要ガイド』を参照してください。	Dell.com/openmanagemanuals
	OpenManage のセットアップ、使用、およびトラブルシューティングについての情報は、『Dell OpenManage Server Administrator User's Guide』(Dell OpenManage Server Administrator ユーザーズガイド) を参照してください。	Dell.com/openmanagemanuals
	Dell OpenManage Essentials のインストール、使用、およびトラブルシューティングについての情報は、『Dell OpenManage Essentials User's Guide』(Dell OpenManage Essentials ユーザーズガイド) を参照してください。	Dell.com/openmanagemanuals
	DSET (Dell System E-Support Tool) のインストールと使用の情報については、『Dell System E-Support Tool (DSET) User's Guide』を参照してください。	Dell.com/DSET
	ASM (Active System Manager) のインストールおよび使用の情報については、『Active System Manager User's Guide』を参照してください。	Dell.com/asmdocs
	Dell Lifecycle Controller (LCC) の機能を理解するには、『Dell Lifecycle Controller User's Guide』(Dell Lifecycle Controller ユーザーズガイド) を参照してください。	Dell.com/idracmanuals
	パートナープログラムのエンタープライズシステム管理についての情報は、OpenManage Connections Enterprise Systems Management マニュアルを参照してください。	Dell.com/omconnectionsenterprisesystemsmanagement
	接続およびクライアントシステム管理についての情報は、OpenManage Connections Client Systems Management マニュアルを参照してください。	Dell.com/dellclientcommandsuitemanuals

タスク	文書	場所
	Dell Chassis Management Controller (CMC) を使用した、インベントリの表示、設定タスクと監視タスクの実行、リモートでのサーバー電源のオン / オフ、およびサーバーとコンポーネント上のイベントに対するアラートの有効化についての情報は、『CMC User's Guide』(CMC ユーザーズガイド) を参照してください。	Dell.com/cmcmanuals
Dell PowerEdge RAID コントローラの操作	Dell PowerEdge RAID コントローラ (PERC) の機能を理解し、PERC カードを導入するための情報は、ストレージコントローラのマニュアルを参照してください。	Dell.com/storagecontrollermanuals
イベントおよびエラーメッセージの理解	システム ファームウェア、およびサーバ コンポーネントを監視するエージェントによって生成されたイベント メッセージおよびエラー メッセージのチェックに関する情報については、『Dell Event and Error Messages Reference Guide』を参照してください。	Dell.com/openmanagemanuals

ドライバとファームウェアのダウンロード

お使いのシステムには、最新の BIOS、ドライバ、およびシステム管理ファームウェアをダウンロードしてインストールすることをお勧めします。ドライバとファームウェアをダウンロードする前に、ウェブブラウザのキャッシュをクリアするようにしてください。

- 1 Dell.com/support/drivers にアクセスします。
- 2 **ドライバおよびダウンロード** セクションで、**デルのサービスタグ**、**Dell EMC の Product ID (プロダクト ID)**、またはモデルを入力してくださいフィールドにお使いのシステムのサービスタグを入力し、**送信** をクリックします。
 ① **メモ:** サービスタグがない場合は、**PC を検出** をクリックして、システムがサービスタグを自動的に検出できるようにします。
- 3 **ドライバおよびダウンロード** をクリックします。
適用可能なダウンロードのリストが表示されます。
- 4 ドライバまたはファームウェアを USB ドライブ、CD、または DVD にダウンロードします。

マニュアルのフィードバック

任意の Dell マニュアルページでマニュアルを評価、またはフィードバックを書き、**Send Feedback** (フィードバックの送信) をクリックしてフィードバックを送信することができます。